

III 重点施策・事業の着実な前進

バブル経済崩壊以降の厳しい財政状況の中、経済・県民生活を営む上での最大の懸案である道路網の整備をはじめ、病院の整備、介護保険制度の運用などの重点施策事業について、実現に向けた取り組みを着実に進めてきました。

1 道路交通網の飛躍的改善

● 2025年を目標にした道路整備の長期構想「なら・半日交通圏道路網構想」の策定と推進(H5～)

実現化のための3本柱

幹線道路網の整備

市街地の総合的な渋滞対策

奈良らしさを活かした沿道環境の整備



● 第二阪奈有料道路(H9)、南阪奈道路(H15)、中和幹線など各種幹線道路の開通・整備



大阪と奈良を結ぶ大動脈 第二阪奈有料道路



橿原市内から関西国際空港までを直接結ぶ南阪奈道路



桜井市から大阪府柏原市を結ぶ中和幹線

● 大規模自転車道(奈良～明日香)の整備(H18)



● 京奈和自動車道「大和・御所道路(大和区間)」及び「五條道路」の開通(H18)



県の南北を結ぶ初の高規格道路

● JR奈良駅付近連続立体交差事業の推進(H9～)



● 近鉄けいはんな線が第三セクター方式で開通(H17)



大阪中心部と学研都市を直接結ぶ

● 奈良県ヘリポートの開港(H10)



2 重要施策の重点整備

● 医大附属病院のB病棟(H9)、C病棟(H15)、精神医療センター(H18)の整備



● 介護保険制度の運用と支援計画の策定(H12～)



● 公共施設のリニューアル



橿原公苑(陸上競技場(H14)、第一体育館(H11)、明日香庭球場(H6)など)



奈良県文化会館(国際ホール等全面改装(H6)、展示室拡張・改装(H18))



● 水資源の安定供給のための大滝ダム建設

● 上水供給の導管網と高度浄水の推進



桜井浄水場の高度浄水処理施設整備(H17～)